

【平成 25 年度・前期学期・ミクロ経済学 I・課題 5】

☆ 締め切り：平成 25 年 7 月 2 日（火）講義開始時

【問 1】ある市場において、需要関数が完全に価格非弾力的であった。この時、市場の価格設定能力（マーケットパワー）が、需要・供給どちらの側にあるか、図を示しながら説明しなさい。

【問 2】ある財の市場において、この財を購入する消費者が A,B,C の 3 人しかいないとして、後の問に答えなさい。ただし、この財に対する各個人の需要関数が次のように与えられているとする。

$$A \text{ の需要関数 : } q_A = 30 - 0.5P$$

$$B \text{ の需要関数 : } q_B = 25 - P$$

$$C \text{ の需要関数 : } q_C = 30 - 0.8P$$

(ア) A,B,C それぞれの逆需要関数を求め、それぞれの需要関数のグラフを右に並べて描きなさい。(A 4 用紙を横にして使うと広くかけます。)

(イ) この財に対する、市場の需要関数を求め、これを図に描きなさい。(ア) の 3 つのグラフを利用し、縦軸切片と屈折点を判るように描きなさい。

【問 3】X 財と Y 財の 2 種類の財について、ある家計（消費者）が市場について購入する状況がある。この家計の予算と市場で直面する X 財 Y 財の価格の情報が以下のように与えられた場合について、後の設問に答えなさい。

予算：1000 円

X 財価格：120 円

Y 財価格：80 円

- (1) この家計の予算制約式を示し、これを図に表しなさい。機会集合も表すこと。
- (2) この予算制約式から、予算性を数式で示し、この傾きについて、経済学的な意味を述べなさい。
- (3) 今、X 財価格が 150 円に変更された時、(1) で描いた図に、あたしい予算線を描き入れなさい。